「ホワイト物流」推進運動
持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
三菱地所株式会社	代表執行役	吉田　淳一	東京都	不動産業，物品賃貸業	https://www.mec.co.jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2022年7月22日

（取組方針）
・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組みます。

（法令遵守への配慮）
・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

（契約内容の明確化・遵守）
・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号		取組項目	取組内容
1	F		次世代モビリティの受入を可能とする高速道路IC直結型基幹物流施設の整備	・ダブル連結トラック・隊列走行トラック・完全自動運転トラック等の次世代モビリティに対応した、高速道路IC直結型の基幹物流施設の整備を通じて、次世代モビリティの利用促進を図り、トラックドライバー不足等の社会課題の解決に貢献します。 ・幹線輸送トラックが一般道を通行することなく荷物の積み替えができるスペースをご用意し、長距離ドライバーのストレス軽減に貢献します。 ・基幹物流施設の整備を通じて、トラックドライバーが何日も帰宅できない長距離運行を大幅に軽減し、日帰り可能な地域配送運行への限定化を進め、次世代モビリティと有人の地域配送トラックとの中継輸送の実現に貢献します。
2	F		先進的な施設運営システムや庫内自動化設備の導入に対応した基幹物流施設の整備	・基幹物流施設において、幹線輸送と地域物流の荷物のスムーズな積み替えを可能とする大規模フロアの整備や、AI技術を活用したトラック入出庫管理、トラックバース満空管理等の施設運営システムを導入し、施設内での荷待ち時間や待機車両数の削減を実現し、物流現場のストレスを大幅に軽減する施設づくりに取り組みます。 ・基幹物流施設において、自動化・省人化設備の導入に対応した施設づくりを通じて、施設の利便性や労働生産性の向上に寄与し、物流現場の長時間労働の是正に貢献します。

PR欄	弊社は、関東圏・関西圏・中京圏の三大都市圏において、完全自動運転トラックや後続車無人隊列走行の受け入れを可能とし、これら次世代のモビリティが高速道路から一般道に下りることなく利用できる物流施設の開発計画を進めております。本計画を通じて、物流 IoT 等の最先端技術に対応した中核物流拠点として広域幹線物流システムの整備を担い、物流業界の人手不足解消や配送効率の高い物流ネットワークの構築に寄与してまいります。本活動にご興味のある企業様、団体様は当社物流施設事業部(03-3287-6380)までお問合せください。